

平成 21 年度大学院理学専攻（修士課程）修了予定者アンケート

以下、1 月 12 日から 2 月 26 日の期間に実施した理学専攻修了予定者に対して行った大学院での学習環境全般に関するアンケート結果を示す。なお、平成 21 年度修了生の多くは、平成 20 年の大学院改組とともに進学・入学しているが、平成 19 年度またはそれ以前に進学・入学した学生も含まれるため、以下の質問 1 では、「数学（数理科学）」のように括弧内に旧講座名を付し、改組後の講座名でまとめて集計した。

理学部大学点検評価委員会

I. 分析

満足できたもの、できなかったものを問う設問に関しては、としてもっとも多かったのが、「研究室での研究やゼミ」（74%）で、「先生との出会い」（67%）、「修士論文」（47%）「友人との出会い」（44%）、の順であり、昨年と大きな違いは見られない。

大学の就職支援に対する満足度は、「満足できた」、「ほぼ満足できた」をあわせて 65%と、昨年の数値（76%）よりやや減っている。自由記述からには、より充実した支援を求めていることがうかがえる。

教育研究施設に関しては 87%が「満足できた」または「ほぼ満足できた」と答えているものの、自由記述の中に、改修工事中による不満が目立つ。アンケート対象の修了生は、理学部 1 号館改修後 1 年を経ているが、昨年同様の改修に伴う不満が書かれている。在学時に改修工事と重なった学生には十分な説明と配慮が必要であった。

II. 集計結果

1. あなたの所属する講座を下記より選んでください。

- A. 数学（数理科学）（13%） B. 物理科学（物質基礎科学）（15%） C. 生物科学（7%）
D. 地球科学（地球史環境科学）（13%） E. 情報科学（11%）
F. 応用化学（物質変換科学）（18%） G. 海洋生命・分子工学（生体機能物質工学）（13%）
H. 災害科学（防災科学）（11%） I. 海底資源科学（0%） J. 植物分類・地理学（0%）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	計
修了者数	7	8	6	7	10	12	7	6	-	1	77
回収件数	7	8	4	7	6	10	7	6	-	1	54
回収率(%)	100	100	67	100	60	83	100	100	-	100	75

2. 大学院での研究や生活で満足できたものを下記より選んでください。（複数回答可）

- A. 修士論文（44%） B. 授業（17%） C. 研究室での研究やゼミ（74%）
D. 先生との出会い（67%） E. 友人との出会い（44%） F. 課外活動（39%）
G. その他（3.7%）

・学会発表

3. 大学院での研究や生活で満足できなかったものを下記より選んでください。(複数回答可)

- A. 修士論文 (16%) B. 授業 (49%) C. 研究室での研究やゼミ (19%)
D. 先生とのトラブル (5%) E. 友人とのトラブル (5%) F. 課外活動 (27%)
G. その他 (3%)

4. 大学院の授業は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた (18%) B. 満足できる授業が多かった (47%)
C. 満足できる授業が少なかった (35%) D. 満足できなかった (0%)

- ・大学院の授業というよりは、学部での繰り返しだった。他の学部の授業を受けられる制度を、自分も受ければよかったと少し後悔した。実習といった形式が多かったが、院生に向けてやるより学部生に向けてやったほうが、学部生も興味を湧くと思う。
- ・もう少し専門の講義に力を入れてもよいと思う。論文を読むことも大事だけど、授業外でも必然的に読む機会があるので。
- ・院生における授業の必要性を疑問視する。
- ・授業があると実験計画が組みにくいと、あと就活でいないことも多いのもう大学院では授業する必要は無いと思う。それか集中形式にすればいいと思う。やるなら15時間分どの先生もしっかり授業してほしい。

5. 教育研究施設(学習環境)は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた (38%) B. ほぼ満足できた (49%)
C. あまり満足できなかった (7%) D. 満足できなかった (5%)

- ・自動販売機を置いてほしい。
- ・引越し(耐震工事)によって、肉体的にも精神的にも時間的にも被害を受けたとしか思えない。さらに、耐震工事後も、施設が狭くなったことなど、全く、研究活動もしづらくなるし、生徒が学びやすいようにという配慮がなかった。また、教授は自分のことに忙しく、研究室内のトラブルや、引越しのさいはいなど相談できるような状態ではなく、事務などへの意見も”素通り”、”表面だけ”という状態だった。
- ・勉強の出来る空間が少ない。図書館がすぐ閉まる。建物が寒い。
- ・セキュリティのためによる使えない教室が多いのは残念
- ・パイプの位置などを考えて工事してほしい。トイレの便座の下から水が漏れていることがある。
- ・ドアをかえてほしい。閉まりにくい、鍵がかけにくい。
- ・実験室と研究室間の移動が大変だった。
- ・車が置けるようにしてほしい。

6. 高知大学の就職支援活動は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた (18%) B. ほぼ満足できた (31%)
C. あまり満足できなかった (31%) D. 満足できなかった (20%)

- ・利用しなかった。
- ・大学院の学生を対象としているわけではない、と言う印象を受けた。自分が何をやりたいのかが分からない学生には良いと思う。
- ・理系が活かせる企業にもっと高知大学に説明会などで来てもらいたかった。
- ・有名企業の説明会をもっと行ってほしい。大学院生や技術者を志望する人間にとって、魅力ある企業が少なかった。

- ・どのような活動を行っているか、もっと告知したほうが良いと思う。
- ・できれば、もっと多くの大手企業を呼んでほしい。
- ・実践的なものは無く、支援活動の存在すら認識していない。

7. 大学院在学中に高知大学公認あるいは非公認のボランティア活動に参加したことがありますか。

A. ある (9%) B. ない (90%)

8. 「ある」と答えた方に質問します。その活動は満足いくものでしたか。

A. 満足できた (100%) B. ほぼ満足できた
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

9. 理学研究科の教育研究全般について、意見があれば書いてください。

- ・大学院へ入っての2年間、授業料(学ぶためのお金)をはらっているのに、どうして?ということが次々ありました。その都度教授に話をすれば、笑いながら「お金がないから無理」とか、「大学の制度上無理」とか、「俺に言われても…」と言われ、事務への言見を出せば、「上と話しあってみました。が…」とか、ただ、ただ、どうしようもありません、という言葉しか返ってこず、うんざりでした。重たいタルや、標本を、生徒が、どこへ移動させるのかを考え、事務や他研究室と交渉し、しかも、大量にあるソレをコロコロ変更させる期日に追い立てられるようにあちからこちへ移動させる家具や、教授の部屋の段取りや実行にも気をつかい、手伝い、一部のみしか業者に任せることが出来ないとはどういうことでしょうか?精神的にも疲弊し、つまらないことで対立し、研究室にもおりづらく、保健管理センターで相談せざるを得ない状態になって、怒りを通りにしてあきらめしか、ため息しか出ません。生徒が困っても、教授も事務も理解してくれない。歩み寄ってくれない。大学院へ進学したことを後悔したこともあります。今は一日も早く研究室にかかわらずにすむように早く卒業できるようにと修士論文を書いては出しています。
- ・自分の専攻する専門分野を極めたくてお金を払って進学するのに、また一から専攻以外の分野について時間を割いて単位を修得しなければならないのが嫌だった。しかも内容は学部の頃の授業とほぼ一緒だった。それなら大学全体で自分のためになりそうな授業を学部の枠にとらわれず受けて、単位必要数を習得したほうがよい。理学についてオールマイティに知るのは学部4年で充分に思う。副専攻など、私たちの年は作りたてで、説明する方もされる方も良く分かっておらず、結局専攻できなかった。やるならきちんと確立させてから、各学部間でもしっかり疎通させてから実践に移してほしかった。結局、「総合人間科学研究科」になった恩恵を受けることは全く無かったように思う。個人的には耐震工事に伴う体力的、精神的負担が大きく、引越に伴い研究室の人間関係も悪化した上、最終的に研究生活そのものに負荷がかかりっぱなしの年度(2年間)だったように思う。本当高知大学のやり方や考え方にはがっかりした2年間でした。
- ・インターンシップは必要科目の中ではなく、選択科目に含めたほうがよいのではないかと感じました。
- ・先生が忙しすぎる等の理由で十分な時間を教育にあてられていないように感じました。日々の雑務のみでなく、研究・教育活動に時間を割ける程度の仕事量にすることが望ましいと思いました。
- ・学部のときに、もっと他のコースの授業が取れるような時間割にしてほしい。
- ・専修免許を取るために普通よりも多くの授業を履修しないといけないというのは、研究がメインの大学院生にとって色々な意味できついです。特に海洋生命・分子工学分野でいっぱい取ろうとすると他分野の授業を履修する必要があり、学部時代の下積みが無いので、難しく、自分野の授業でも生物寄りと化学寄りでは研究内容が大きく違うので、論文を読んでも何のこともさっぱり分からずかなりの時間を割かないといけなくなります。専門外の論文を理解するために、自分の研究の時間を割くなんて、時間の無駄以外のなんでもないと感じます。